

2014年秋季研究発表会における学会賞表彰式後の会長メッセージ

去る2014年8月28日北海道科学大学での2014年秋季研究発表会における学会賞表彰式後、その場で、大宮会長から会員の皆様にメッセージが寄せられましたので、ここに広くご紹介いたします。

会長 大宮 英明

受賞者の皆さん、改めましておめでとうございます。昨日のシンポジウム、本日から2日間の秋季発表会とOR学会の活動が活発に行われていることを再認識した次第です。

さて、私の会長就任の挨拶でも述べさせて頂きましたが、実学として生まれたORは、社会や産業のさまざまな分野で最適・合理的な判断の支援ツールとして役立っており、近年のコンピューターの飛躍的な進歩に伴い、より複雑な問題のモデル化、膨大なデータの解析評価など、ORの利活用による新たなブレイクスルー、イノベーションの創出が期待されます。

一方で、これまでわが国においては、大学を中心に高い水準の研究が行われてまいりましたが、その成果は十分に社会に還元されていないと感じております。私は、産業界とのマッチングやメディアを通じた社会に対する積極的な発信を通じ、OR学会の活性化を図りたいと考えております。

ご存じのとおり、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。このオリンピック・パラリンピックのビジョンは、「安全、安心、確実な大会開催」、「情熱的で熱狂的な祝祭」、「最先端のイノベーションの発信」と言われています。これらのビジョンを実現するためには、計画・準備段階、実際の大会運営期間中、閉会後の街づくりなどについて、ソフト、ハード両面において、種々の複雑かつ多様な問題のシミュレーションや最適化が必要になり、まさしくORが活躍する絶好の機会になると考えています。

そこで、私は2015・16年の2年間、「オリンピック・パラリンピックとOR」という統一テーマのもと、例えば輸送系のシミュレーションや渋滞予想による人、モノの流れの最適化、エネルギーや膨大な情報の最適なマネジメント、施設のレイアウト、収容能力、ゲート配置などの最適設計、テロ・暴動や災害時の避難シミュレーションや警備計画への反映など、社会的な課題に対する解決法の公募やシンポジウムの開催を通じ、学会の活性化と社会へのアピールを図りたいと考えております。

詳細につきましては、今後理事会、活性化委員会で検討のうえ、来春の春季発表会で皆さんにご説明したいと考えておりますので、皆様の積極的な参加を期待しています。

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日は以下のとおりです。

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2014年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2015年1月31日
3. 学生論文賞：2015年3月31日

推薦状は、ホームページ (<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>) からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award.html>に記載しています。

〔研究賞〕 昭和43年(1968年)に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。

〔研究賞奨励賞〕 若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。

被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年3名程度を表彰する予定です。

〔事例研究賞〕 ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔業績賞〕 ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。

ただし被推薦者は、原則として満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。

〔実施賞〕 ORの強力な実施・推進に対して贈られま

す。毎年1件程度を表彰する予定です。

〔普及賞〕 ORの普及に大きな貢献に対して贈られます。毎年1件程度を表彰する予定です。

*〔実施賞〕〔普及賞〕は、個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕 2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔学生論文賞〕 学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 2015年春季シンポジウム(第73回)

日 程：2015年3月25日(水)

場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

実行委員長：生田目 崇(中央大学)

● 2015年春季研究発表会

日 程：2015年3月26日(木)、27日(金)

場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

実行委員長：矢部 博(東京理科大学)

特別テーマ：「グローバル社会とOR」

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第249回

日 時：2014年10月18日(土) 14:00~17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(W)809号室

テーマと講師：*講演者

(1)「途中退去のある複数サーバ待ち行列モデルの定常分布」

*河西憲一(群馬大学)、滝根哲哉(大阪大学)

(2)「IEEE802.11直線状無線マルチホップネットワークにおけるスループットおよび遅延解析」

*眞田耕輔、関屋大雄(千葉大学)

問合せ先：井家 敦(神奈川工科大学)

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

部会 URL : <http://www.orsj.or.jp/queue/>

● 新宿 OR 研究会案内

〔第342回 新宿 OR 研究会〕

日 時 : 2014年10月21日(火) 12:00~14:00

場 所 : 東天紅会議室(新宿センタービル53F)

講 師 : 中森眞理雄氏(東京農工大学名誉教授)

テーマ : 「電子基板生産における OR」

参加費 : 3,000円(昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。)

問合せ先 : 日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 公募案内

(詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

・国立大学法人茨城大学理学部数学・情報数理領域

募集人員 : 准教授または助教1名

所 属 : 茨城大学理学部数学・情報数理領域

専門分野 : 情報数理(ネットワーク科学, シミュレーション科学, 最適化, 機械学習等)

担当授業科目 :

学部…情報数理関係の教養科目および専門科目

大学院…「博士前期課程」情報数理関係の科目

採用予定日 : 平成27年4月1日

応募資格 :

- (1) 博士の学位を有すること、または採用予定日までに取得見込みのこと
- (2) 専門分野での十分な研究能力を有し、数学の応用に関する教育・研究に熱意を持って取り組んでいただける方

提出書類 : (1) 履歴書, (2) 教育に関する業績リスト, (3) これまでの教育実績の概要と今後の教育

への抱負(2,000字以内), (4) 研究業績リスト, (5) 主要論文別刷5編以内(コピー可), (6) 研究業績の概要と今後の展望(2,000字以内), (7) 外部資金獲得状況, (8) 応募者について照会可能な方の氏名・連絡先(2名), (9) 応募者の連絡先とe-mailアドレス

応募締切 : 平成26年10月20日(月) 必着

書類送付先 : 茨城大学理学部数学・情報数理コース情報系人事委員会 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

* 提出書類を一括して厳封し「情報数理教員応募」と朱書き簡易書留で郵送してください。

問合せ先 : 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学理学部 長谷川 博
電話 : 029-228-8522

E-mail: hhh@mx.ibaraki.ac.jp

または茨城大学理学部 村重 淳

電話 : 029-228-8339

E-mail: murasige@mx.ibaraki.ac.jp

FAX : (理学部事務室) 029-228-8403

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、主催学会の会員と同じ費用で参加できる場合があります。詳しくは、各学会にお問合せください。

・経営情報学会2014年秋季全国研究発表大会

日 程 : 2014年10月25日(土)~26日(日)

場 所 : 新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス

主 催 : 経営情報学会

協賛学会参加費 : 会員の参加費が適用されます。

WEB : http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2014_fall/

2014年度 第2回 ORセミナー『技術者のためのゲーム理論の基礎』

開催趣旨: 経済学を中心に社会科学において大きく発展したゲーム理論であるが、近年は理系のエンジニアや情報系の技術者にゲーム理論を学んでみたいとする者が増えている。本セミナーでは、そのような企業人を対象にゲーム理論の基礎を講義する。ゲーム理論の基礎的なチュートリアル、ビジネスにおけるゲーム理論的考え方、工学的なゲーム理論の応用例としてのマッチングとオークションの基礎的なセミナーを行う。

日 時: 2014年12月6日(土) 10:00~17:00

会 場: (株)構造計画研究所本所新館(地下1階レクチャールーム)

〒164-0011 中野区中央4-5-3 Tel. 03(5342)1065

東京メトロ丸の内線「新中野」駅1,2番出口徒歩約1分 <http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: 榎尾 博(東京ガス(株)) E-mail: kashio@tokyo-gas.co.jp

プログラム: (敬称略)

10:00~10:10 **開会挨拶 (セミナーの概要)** 渡辺隆裕(首都大学東京経営学専攻)

10:10~12:00 **「初歩から学ぶゲーム理論」** 渡辺隆裕(首都大学東京経営学専攻)

ゲーム理論の基礎を学ぶ。ゲーム理論とは何か、戦略形ゲーム、支配戦略、ナッシュ均衡、社会最適(パレート最適)と個別最適(ナッシュ均衡)とのずれ、2×2ゲーム、展開形ゲーム、バックワードインダクションについて学ぶ。(内容を若干変更することがあります)

13:00~14:15 **「ビジネスとゲーム理論」** 松林伸生(慶應義塾大学理工学部管理工学科)

ゲーム理論をビジネスで応用する場合に重要な点、経営戦略とゲーム理論、最適化との違いについて述べ、マーケティング、ITビジネス、サプライチェーンなどに関する意思決定の際にゲーム理論が与える示唆についても可能な範囲で触れる。(内容を若干変更することがあります)

14:25~15:25 **「マッチングとその応用」** 岩崎 敦(電気通信大学大学院情報システム学研究科)

ゲーム理論が実際に使われている工学的応用の1つとして、児童がどの学校に通うかを選択する学校選択制や研修医がどの病院で研修を受けるかを定める研修医配属におけるマッチングのメカニズム(ルール/制度)をどう設計するかという問題がある。本セミナーでは、マッチングの例を中心にメカニズムデザイン(制度設計)の考え方や安定性や耐戦略性などの概念を解説する。(内容を若干変更することがあります)

15:40~16:40 **「オークションのデザイン」** 福田恵美子(防衛大学校情報工学科)

ゲーム理論によってオークション制度を分析した研究を紹介する。セカンドプライスオークションや耐戦略性について解説した後、応用例として検索サイトで用いられている広告オークションの仕組みを説明する。さらに、二つのオークション制度を実験により比較した結果を紹介する。(内容を若干変更することがあります)

16:40~17:00 **まとめ** 渡辺隆裕(首都大学東京経営学専攻)

参加費(テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む)5,000円、学生会員1,000円、学生(非会員)1,500円、非会員20,000円

*セミナーに参加した非会員は、入会金無料で入会でき、2014、2015年度の年会費は免除されます。

申込方法: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

お名前、ご所属先、正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員、お支払予定日を記入してメールにてお申込みください。会社宛請求書が必要な場合、その旨お書きください。

申込締切: 2014年11月28日(金)

お振込先: みずほ銀行: 根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会: 日本経営工学会(JIMA)、日本品質管理学会(JSQC)、日本信頼性学会(REAJ)、研究・技術計画学会(JSSPRM)、日本設備管理学会(SOPE-J)、プロジェクトマネジメント学会(SPM)

*詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

第26回RAMPシンポジウム

日程：2014年10月16日(木)、17日(金)

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階スカイホール

実行委員長：野々部宏司(法政大学)

プログラム委員長：柳浦陸憲(名古屋大学)

プログラム：

10月16日(木)

10:00~13:00「土木計画学における最適化」

オーガナイザー：林 俊介(東北大学)

- ・貝戸清之(大阪大学),「インフラ管理の最適化：アセットメトリクスに向けて」
- ・高山雄貴(愛媛大学),「非凸な空間経済における安定均衡状態の特性分析：都市集積モデルにおけるランクサイズルールの創発」
- ・赤松 隆(東北大学), 和田健太郎(東京大学),「動的な交通ネットワーク流の制御」

14:30~17:30「エネルギー利用最適化への挑戦」

オーガナイザー：佐々木美裕(南山大学)

- ・児山篤紘(関西電力株式会社),「再生可能エネルギー大量導入に向けた関西電力の取り組み」
- ・高嶋隆太(東京理科大学),「不確実性下における電源リプレースの経済性評価」
- ・田中 誠(政策研究大学院大学),「再生可能エネルギーの政策分析—RPS制度と均衡制約をもつ数理計画問題—」
- ・横山良平(大阪府立大学),「分散型エネルギーシステムの最適設計—設計と運用の階層的関係を考慮したアプローチを中心として—」

18:00~(予定)懇親会

10月17日(金)

9:30~12:30「世界をリードする計算機科学の巨大プロジェクト」

オーガナイザー：加藤直樹(京都大学)

- ・岡田真人(東京大学),「機械学習の三つのレベルとデータ駆動型科学」
- ・湊 真一(北海道大学),「ERATO湊離散構造処理系プロジェクトの主な研究成果と近況について」
- ・渡辺 治(東京工業大学),「計算限界への挑戦：P=NPの世界を目指して」
- ・河原林健一(国立情報学研究所),「巨大グラフ：理論解析と高速アルゴリズム」

14:00~17:00「整数計画」

オーガナイザー：品野勇治(Zuse Institute Berlin)

- ・Martin Grötschel (Zuse Institute Berlin, Technical University Berlin, MATHEON Berlin), “Future perspectives of optimization: My view”
- ・Matteo Fischetti*, Michele Monaci (University of Padova), “Proximity search heuristics for Mixed Integer Programs”
- ・Andrea Lodi (University of Bologna), “Solving Mixed-Integer Quadratic Problems with IBM-Cplex: a progress report”
- ・Tobias Achterberg (Gurobi Optimization Inc.), “Presolving in Mixed Integer Programming”

シンポジウムホームページ：http://www.orsj.or.jp/ramp/2014/

2014年度年会費納入のお願い

2014年度年会費の請求書を11月に発送いたしました。納入期限は2013年12月末までとなっておりますので、お早めにご入金くださいますようお願いいたします。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

*OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

①学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2013年度・2014年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。WEBからの入会申込み手続き、入会金600円のお振込み、指導教員様のメール（「教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属先、メールアドレス」を明記してください。）をもって、無料化受付が完了します。

②ただし、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

③当該学生が卒業、就職などにて年度末（3月）退会の場合はお手数ですが、指導教員様より事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局までお問合せください。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。

メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようご案内申し上げます。

アドレス変更の場合、ご自分で新アドレスの参加登録、旧アドレスの脱退手続きが必要です。OR学会会員情報の変更届けとは連動しておりませんので、ご注意ください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員 14,400円、
学生会員 5,000円、
シニア会員 7,200円
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担でお願いいたします。

*会員番号とお名前は必ずお書きください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先／学生会員→正会員への変更／退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。